昭和100年記念
コンサート

未来へつなぐ歌

～調布市国際交流平和都市宣言と共に～



2026
11/21(土)
13:30 開場
14:00 開演



会場：調布市文化会館たづくり 2F　くすのきホール
［住所］調布市小島町2-33-1（京王線調布駅広場口から徒歩4分）

【曲目】

- 日本の唱歌 ～「ふるさとの四季」より
- 世界の国歌と名曲 ～ 日本・アメリカ・イタリア・フランス・ドイツ・パラグアイ　他
- 昭和・平成流行歌メドレー ～ 丘を越えて・いつでも夢を・川の流れのように・ありがとう　他
- 全員合唱
  「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」

［出演］

吹浦 忠正（解説）
杣友 惠子（メゾソプラノ）
杉浦 隆大（バリトン）
高見 秀太朗（ピアノ）
新藤 昌子（ソプラノ）
新津 耕平（テノール）
鼓緒太（ピアノ・編曲）
塚田 真夫（指揮）
パシフィックフィルハーモニア東京 有志
昭和100年スペシャル合唱団
調布市立第六中学校／神代中学校 合唱部　他

チケット：3,000円
（障がい者は無料／要予約のためお問い合わせください）

▶購入は、右記二次元コードから →
▶チケットに関する問合せ：
オオガミ　Tel.03-5351-0131

主　　催：昭和100年コンサート実行委員会（実行委員長：新藤昌子）
共　　催：調布市、社会福祉法人さぽうと21
後　　援：調布市教育委員会、社会福祉法人調布市社会福祉協議会、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
協　　力：NPO法人世界の国旗・国歌研究会、一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京
特別協力：株式会社シルバーバックス・プリンシバル

問合せ：昭和100年コンサート実行委員会（担当：オオガミ）
Tel. 03-5351-0131　Mail：michiko369@gmail.com

実行委員会 HP：https://chofu100con.wordpress.com/

歌で結ぶ　世代
歌でつなぐ　平和

ご挨拶 message

昭和100年となる節目の本年。激動の昭和を彩った名曲を通して歴史に学び、幼児から高齢者まで、障がいのある方もご一緒に声を合わせて「共生」「平和」の大切さを実感できるステージを創ります。さらに世界へと視野を広げ、平成から令和、そして未来を生きる全ての世代へ向け、ジャンルを超えて心に響く音楽をお届けします。

実行委員長・ソプラノ歌手　新藤 昌子

出演者のプロフィール profile



吹浦 忠正（解説）

NPO法人世界の国旗・国歌研究協会共同代表。早稲田大学大学院修了。NHK大河ドラマ「いだてん～オリンピック噺」「青天を衝け！」で２年間国旗考証。小学６年生用道徳科教科書「生きる力」（日文教）に13年間主人公として登場中。日本で開催された全４回のオリンピック、世界陸上、アジア大会などで組織委にあって国旗や式典に関わる。週刊新潮で214週に及ぶ「オリンピック・トリビア」を連載し、2023年８月より、世界の国旗の已己巳己を毎週連載中。現在、NPO法人ユーラシア21研究所、パシフィック・フィルハーモニア東京、公益社団法人パチンコ・パチスロ奨学金各理事長など。埼玉県立大学元教授、東京財団元常務理事など。



新藤 昌子（ソプラノ）

調布市出身。桐朋学園大学音楽学部声楽科卒業、同研究科修了。2028年にオペラデビュー40年を迎えるソプラノ歌手。現代音楽奏者からキャリアをスタート、その後文化庁オペラ公演「うたよみざる」を初め、オペラ・オペレッタ、多くの言語によるコンサートに多数出演。2006年より世界の国歌を通じた国際友好親善活動をスタート、現在約200カ国に及ぶ国と地域の国歌を原語でうたう研究家。内閣官房事業において「世界の国歌アドバイザー」を任ぜられ、建国記念日等の式典、国際試合にて国歌を独唱する他、全国の自治体と関連の深い友好国との絆を国歌で紡ぐ指導、講演活動を続けている。二期会･東京室内歌劇場会員､コール･アンセム（国歌合唱団）主宰。NPO世界の国旗・国歌研究協会共同代表。

https://masako-shindo.com/　　https://kokkiken.or.jp/



鼓緒太（ピアノ・編曲）

４歳からピアノを始める。山形大学大学院農学研究科出身。学者を志し農学を学んでいたが、紆余曲折を経て24歳で上京、本格的に音楽の道へ。ジャズ理論をはじめ幅広い音楽を学び、現在は国内外でジャンルを越えた演奏活動を展開している。和楽器との共演をはじめ、ダンス、大道芸、朗読、アロマ、華道、詩や絵画など、異分野とのコラボレーションも数多く手がける。これまでにオリジナルアルバムを４枚リリース。2020年以降は、内閣官房ホストタウン事業において国歌アドバイザーのアシスタントとして、100か国以上の国歌の編集・演奏に携わっている。



高見 秀太朗（ピアノ）

大阪府出身、調布市在住。桐朋女子高校音楽科（共学）、桐朋学園大学音楽学部を経て、宮城教育大学教職大学院修了。「音楽で心をつなぐ」をテーマに、あらゆる人々に音楽を届ける活動を展開。特に子どもに対する活動に力を入れており、全国60校以上への訪問など、幅広く精力的に活動している。第19回日本クラシック音楽コンクール最高位、世界クラシック第２位。日本調律師協会関東支部 新人演奏会出演。元調布市立第五・第七中学校 音楽科講師。現在、一般財団法人100万人のクラシックライブ 運営メンバー・ピアニスト、音楽団体「MECP 事務局」代表、一般社団法人音楽がヒラク未来 スタッフ。

パシフィックフィルハーモニア東京　有志

1990年設立。定期演奏会をはじめとする自主公演を軸に、音楽鑑賞教室、オペラ、バレエ、レコーディング、放送出演など、多岐にわたる演奏を展開しています。ポピュラー音楽、映画、アニメ、ゲーム音楽のコンサートにも積極的に取り組み、多彩なジャンルのアーティストと共演の場を広げています。子どもたちに音楽を届ける取り組みを大切な活動指針とし、多数の奏者が呼吸を合わせ一つの響きを創り上げるオーケストラならではの調和の姿を伝えることを命題に、地域や教育の現場に寄り添い、日々の演奏を地道に積み重ねています。

社会福祉法人さぽうと21

社会福祉法人さぽうと21は、日本に定住するインドシナ難民、条約難民、中国帰国者、日系定住者及びその子弟などの自立を支援する団体です。インドシナ難民の日本への定住支援を目的として1979年に設立された「インドシナ難民を助ける会」（現・AAR Japan［認定NPO法人難民を助ける会］）の国内事業を引き継ぎ、1992年に社会福祉法人として設立されました。主に、外国にルーツを持つ子供や親たちへの日本語教育、補完教育を首都圏で展開しています。